

# 繋がる、広がる、変わる。 ～これからの地区センターのあり方～

岡山 | 岡山県立津山工業高等学校 選手…3年生6名、2年生1名、1年生2名  
[男子4名、女子5名]

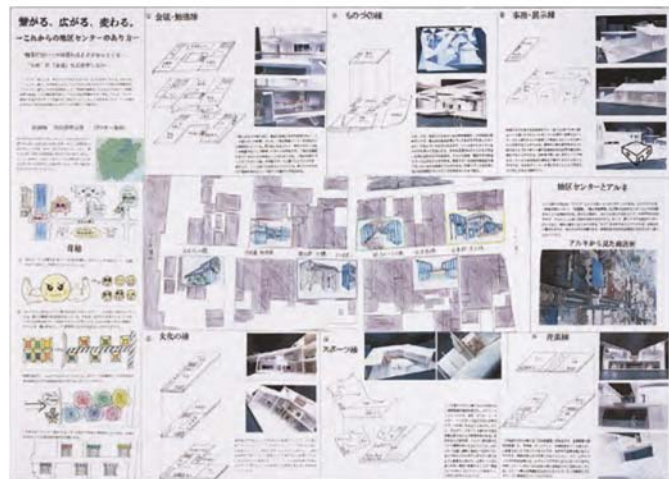


現在、シャッター通りとなっているアーケード街。どこの街にも大きな課題として存在している。その活性化していないアーケード街に賑わいを取り戻すことを目的として、これからの地区センターの構想をつくり上げている。

そのために必要な用途として何があるのか。6つの用途を考え、それぞれの建物をデザインしている点は興味深い。個々の建物の模型はデザインとしてもとても面白いものが多く、よく考えて設計していると思うが、パースによる表現は粗さが目立ち、少し工夫が必要ではと思う。

映像表現では、はじめの賑わいの無いアーケード街の映像表現がわかりにくかった。個々の建物を最中で表現して、その繋がりを意識している点は良いが、提案上での表現が希薄であった。

全体にこのアーケード街におけるデザインとしての統一感がほしかったと思う。また、対象区域外との繋がりがもどのような形で考えているか表現いただけると、さらによかったのではと思う。(小野)



## ベスト8

# 子ども見守り隊 ~Children are core~

広島 | 広島県立宮島工業高等学校 選手…2年生2名、1年生2名[女子4名]



地域コミュニティに課題を抱えている。そして、子どもも少子化等の社会的課題を抱えている。これらの諸課題をなんとかしないといけないと思った作品とを感じる。着眼点がいい。子どもを連れ、公園でママさんたちの会話が聞こえる。そんななごやかな風景も目に浮かぶ。

さて、計画についてだが、次の2つの点が気になった。

まず、公園と周辺の建築、特に、区民文化センターとの関係性。せっかく、隣接に不特定多数の人々が利用できる施設があるのに、背を向けたことだ。この施設を取り込んで一体的に計画することをすれば、と思った。もったいないことをした。

2点目は、視線の遮りだ。計画建物が公園緑の周囲に配置されている。中央部には、盛り上がった芝生の丘がある。対角への視線を遮っている。周辺沿いの配置は、中央部の様子がよくわかる場合は、場が1の空間になってよいと思えるが、この地形はそれを阻止している。むしろ、この地形なら丘のてっぺんにあれば、と思う。そして、計画建物の壁の位置が、公園側と平行なものもあり、子ども見守りの視線を遮る。



この計画のよさは、シンプルなことだ。壁もなくしてもよかったのでは。ともかくベスト8。おめでとう。(森崎)